

体裁——A5判・上製本・総三、三四〇頁

解題——中西直樹（筑紫女学園大学准教授）

第一回配本二〇〇八年九月

【第一巻〜三巻〇本体揃価格六〇、〇〇〇円十税】

第二回配本二〇〇九年一月

【第四巻〜六巻〇本体揃価格六〇、〇〇〇円十税】

定価——全六巻〇本体揃価格一二〇、〇〇〇円十税

仏教 海外開教史 資料集成

北米編

全六巻
編集復刻版

近代以降、多くの日本人が海外へと渡航していった。

出稼ぎ、移民、そして侵略——世界各地、日本人の赴くところには、

必ず仏教伝道の志を懐いた開教師（使）たちがいた。

彼らは、ときに在外邦人の心の灯火となり、外国伝道の拠点を築き、

海外進出の最先機関としての役割を果たしてきた。

本資料集成は、北米における膨大な仏教開教の記録であるが、引き続き

南米やアジア諸国の資料も復刻刊行する。

仏教教団の海外開教の現状と歴史を検討するための、必要不可欠な資料集である。

不二出版

国境を超えた日本仏教の貴重な記録

大村英昭 (関西学院大学教授・大阪大学名誉教授)

『ボーダレス』とか『グローバルゼーション』とか、政治も経済も国境を超え、ために「国家の品格」だの、「美しい国」だのと、かえって民族主義を助長するような言説も目立ちます。なんと中世以来、「四海のひとみな兄弟」と高唱してきた日本の「野の仏教」の意義は、高まりこそすれ、低くなることはありません。ことに浄土真宗は早くも十九世紀末には国境を超え、すぐれた先覚者の努力によって二〇世紀前半中にハワイや北米・西海岸部、そして南米へと多くの拠点形成することに成功しました。

しかもそれは、一時の「満州」や台湾での開教のように国策に便乗したものではありませんでした。まさに「野の仏教」の本領発揮。貧しい異教徒としての生活を強いられたい人びとに、一筋の光明をもたらすようにして「クニノサカヒ」を超えていったのです。

今回復刻される『仏教海外開教史資料集成』には、この「野の仏教」のおかげで、かの地であって、やがて貧困からも、国の縛りからも脱却し堂々の国際人となっていく人たちの、ただし苦難に充ちたながい道のりがヴィヴィットに記されています。私は、たまたま二〇〇四(平成十六)年度「ハワイ開教区特派講師」として、本派本願寺派をはじめ、仏教各派の現況について触れる機会をもった者ですが、とくに日本語で通じる人たちがほとんどいなくなりつつあることに強い印象をもちました。ということ、日本仏教がまさしくグローバルライズされつつあるという意味でしょうが、それだけに、この『資料集成』は、そこに至るまでの先人のご苦労を記録した貴重な文書であることも意味しましょう。自信を持って推薦する理由でもあります。



■上の写真は「シアトル佛教會」(ワシントン州、創立1901年)
 ■下の写真は「開教満35年(1934年度)開教使信徒聯合会議記念」
 ■その下は常光浩然編『日本佛教渡米史』の表紙と目次



仏教海外開教史——移民史の新たなフィールド

坂口満宏 (京都女子大学教授)

シアトルの日本人移民社会を調べていた頃、しばしば本願寺派の別院に泊ってもらい、開教使の先生に誘われるまま、日曜日の礼拝にも参列させてもらった。午前の部は日本語で、午後のそれは英語でなされていた。話には聞いていたが、実際にそうした場を目の当たりにしたとき、カルチャーショックを感じた。そしてその衝撃は、移民の歴史と文化交流の意義を考えるときの確信となり、その思いは、ハワイやカナダのお寺を訪ねるたびに強くなっていった。

日本に帰り、海を越えた日本仏教の足跡についても調べておかななくてはと思い、一つ二つと古書の収集を始めてみたが、思いのほかその作業は進まなかった。それだけに『仏教海外開教史資料集成』の刊行は、朗報である。真宗派のみならず、浄土宗、曹洞宗、日蓮宗、真言宗など諸宗派の主要文献を一度に手にすることができるからである。

この『資料集成』の刊行を機に、「仏教東漸」という使命の実現にむけた開教使たちの苦闘も見直されていくことだろう。そして日曜学校や日本語学校の運営に果たした寺院の役割、移民社会における在家信者の存在など、日本人移民研究の新たな裾がが予感される。

佛教東漸七十年記念出版

日本佛教渡米史

常光浩然編

目次

第一章 ハワイにおける日本佛教史

第二章 北米における日本佛教史

第三章 カナダにおける日本佛教史

第四章 ブラジルにおける日本佛教史

第五章 佛敎史と日本史

第七章 米国佛敎史上の人物

第一節 ヘンリー・エース・オルコット

第二節 声津 央 全

第三節 釈 宗 演

第四節 土 宣 法 池

第五節 八 瀧 禪 竜

第六節 平 井 金 三

第七節 野口 善 四郎

第八節 野村 岸 三

第九節 ポール・ケイツ

第十節 メリッ・フオスター

第十一節 木 大 拙

内容目次

大拙の生涯 青年時代 大いに友誼を 佛縁の由来 清永金年 あと五年 一こぼればなし

第十三節 釈 宗 演

第十四節 千 崎 如 幻

第十五節 佐々木 指 月

第十六節 古川 堯 道

第十七節 田 宗 忠

第十八節 今 村 恵 監

第十九節 内 田 眺 暎

第二十節 日 暎 仙

第二十一節 旭 日 苗

第二十二節 京 極 逸 暎

内容目次

第二十三節 小澤代 聖 宣

第二十四節 小澤代 聖 宣

第二十五節 小澤代 聖 宣

第二十六節 小澤代 聖 宣

第二十七節 小澤代 聖 宣

第二十八節 小澤代 聖 宣

第二十九節 小澤代 聖 宣

第三十節 小澤代 聖 宣

第三十一節 小澤代 聖 宣

第三十二節 小澤代 聖 宣

第三十三節 小澤代 聖 宣

第三十四節 小澤代 聖 宣

第三十五節 小澤代 聖 宣

第三十六節 小澤代 聖 宣

第三十七節 小澤代 聖 宣

第三十八節 小澤代 聖 宣

第三十九節 小澤代 聖 宣

第四十節 小澤代 聖 宣

第四十一節 小澤代 聖 宣

第四十二節 小澤代 聖 宣

第四十三節 小澤代 聖 宣

第四十四節 小澤代 聖 宣

第四十五節 小澤代 聖 宣

第四十六節 小澤代 聖 宣

第四十七節 小澤代 聖 宣

第四十八節 小澤代 聖 宣

第四十九節 小澤代 聖 宣

第五十節 小澤代 聖 宣



第二世と兵役関係

目次

- 第一章 義務としての兵役
- 第二章 二重国籍者と兵役
- 第三章 兵役一般に関する注意
- 一、徴兵検査
- 二、徴集延期
- 三、徴兵適齢届
- 四、届出人の變更
- 五、罰則
- 第四章 在外徴集延期及びその手続
- 一、在外徴集延期の手続



昭和十二年八月
日本米布協會要覽
日本米布協會發行

高野山米國別院五十年史

聖誕二千五百年記念
開教三十五周年
北米開教沿革史

北米仏教史話
|| 日本仏教の東漸 ||

河崎顯了著
歐米傳道記
破塵閣書房版

佛教海外傳道史 上篇



開教事業の端緒

大阪本派本願寺津村別院輪番

本 多 惠 隆

願れば今から三十年有餘の過去の事ではありますが、當時本派本願寺に於ては、明如上人が新門様としての光瑞貌下に、學事、布教の兩事務を試験的に委任せられたのであります。年少氣銳の新法主は此の大乗佛教を全世界に弘めんとする燃ゆる様な御熱心をもつてゐられました。までもありません。斯る御熱心によつて當時既に布哇の開

一年には開教事業の擴張の御計畫を樹てられ、一方南洋方本君が私に派遣せられることになつたのであります。

今考へてみますと随分長い航海でもあつたし、亦頗る陸いたしました。そして直ぐ總領事館に行きまして時の總來た、末松遞信大臣及びその祕書官であつた高楠順次郎氏

開教事業の端緒

(一) 創立沿革と發展概要

我が同胞が北米の地に移住して、以來茲に六十有五年、初め十數名に過ぎなかつたが逐年その數を加へ、明治三十年ごろには在米同胞約二萬を數ふるに至つた。桑港は日本人が北米に渡つて最初に足を踏み入れた尊い歴史を有し、その頃すでに桑港市内のみで約三千人の邦人が居を構へてゐた。別項すでに當時の沿革「北米佛教團が生れる迄」の一篇に概要を掲げた如く本派本願寺が海外布教視察を名として本多、宮本兩師を當地に派遣し具さに同胞の實狀を調査せしめ、一方道途燃ゆるが如き同胞の宿願を察知して正式に米國開教の陣構を立てられたのを機として同士結合、いよく佛教青年會の誕生となり、翌三十一年七月三十日夜、市内マーケット街九〇九番ビヤンキヤツル會館に於て創立發會式を舉行した。之が即ち現在の桑港佛教會の前身で、ひいては米大陸に佛教傳道の火蓋を切るに至つた濫觴なのである。而して今日の隆盛を見るに至つた當佛教會の發展概要を窺ふに、既に本會は前述の如く明治

カナダ移民史資料 全五卷

佐々木敏二編集・解説
A4判・A5判・B6判・上製・総二、六六四頁
揃定価九八、〇〇〇円＋税
一九九五年五月刊〔復刻版〕
推薦||飯野正子・原口邦紘・三輪公忠

カナダ移民史資料II 全六卷・別冊一

佐々木敏二・権並恒治編集・解説
別冊||全二六六頁の英文目次+「加奈陀と日本人」の翻訳
B5判・A5判・上製・総四、一一六頁
揃定価一四八、〇〇〇円＋税
二〇〇〇年九月刊〔復刻版〕

移民地事情 全一〇巻・別冊一

外務省通商局編〔大正十一年〜昭和六年刊〕
別冊||解説(柳田利夫)・総目次
A5判・上製・総四、八一〇頁
揃定価一九一、〇〇〇円＋税
一九九九年十一月〜二〇〇〇年十二月配本完結〔復刻版〕

日刊海外商報 全一五巻・別冊一

外務省通商局編纂〔大正一四年〜昭和三年刊〕
高嶋雅明解説
A4判・上製・総六、三三四頁
揃定価四二〇、〇〇〇円＋税
二〇〇五年五月〜〇六年八月配本完結〔復刻版〕
推薦||高嶋雅明

日系アメリカ文学雑誌集成 全二二巻・別冊一

篠田左多江・山本岩夫編集・解題・解説
別冊||日系アメリカ文学雑誌研究
日本語雑誌を中心に
A5判・B5判・上製・総一、四二〇頁
揃定価三九六、〇〇〇円＋税
一九九七年六月〜九八年二月配本完結〔復刻版〕
推薦||阪田安雄・佐々木敏二・福田陸太郎

海外各地在留本邦人職業別人口表 全五巻・附録一

外務省通商局編〔明治四〇年〜昭和一五年刊〕
解説(柳田利夫)付き
B4・B5判・上製・総一、八〇〇頁
揃定価九五、〇〇〇円＋税
二〇〇二年一月刊〔編集復刻版〕
推薦||兒玉正昭・佐々木敏二

戦前期中国在留日本人統計 全八巻

外務省政務局ほか編〔明治四一年〜昭和一九年刊〕
解説(木村健二・幸野保典)付き
B5・A5・A4判・上製・総三、四七〇頁
揃定価一九〇、〇〇〇円＋税
二〇〇四年六月〜一〇月配本完結〔編集復刻版〕
推薦||川島 真・高嶋雅明

日本移民協会報告 全二巻

日本移民協会発行〔大正三年〜大正八年刊〕
解説(坂口清宏)・総目次・索引付き
B5判・上製・総六八〇頁
揃定価三六、〇〇〇円＋税
二〇〇六年九月刊〔復刻版〕

海外日本実業者の調査 全八巻

外務省通商局編〔明治三六年〜昭和一四年〕
解説(高嶋雅明)付き
A4判・上製・総二、四五〇頁
揃定価二二四、〇〇〇円＋税
二〇〇六年一月〜〇七年六月配本完結〔復刻版〕
推薦||木村健二・柳田利夫

日本仏教社会福祉学会年報 全八巻

日本仏教社会福祉学会機関誌
第一号(昭和四四年)〜第二六号(平成七年)
B5・A5判・上製・総三、四三二頁
定価二二〇、〇〇〇円＋税
二〇〇四年一〇月刊〔復刻版〕
推薦||阿部志郎・吉田久一

内容案内送呈。お申し付け下さい。

仏教 海外開教史 資料集成

北米編 全六巻

編集復刻版概要

体裁 A5判・上製本・総三、三四〇頁

解題 中西直樹（筑紫女学園大学准教授） 第六巻の巻頭に収録

第一回配本二〇〇八年九月

【第一巻～三巻】◎本体揃価格六〇、〇〇〇円＋税

ISBN978-4-8350-5814-6

第二回配本二〇〇九年一月

【第四巻～六巻】◎本体揃価格六〇、〇〇〇円＋税

ISBN978-4-8350-5818-4

定価 全六巻◎本体揃価格一、二〇、〇〇〇円＋税

推薦 大村英昭・坂口満宏

収録内容

巻数 編著者等 『書名』 『刊行年』

宮本恵順 著 「北米視察談」〔『教海一瀾』第29・30・32・34・35号より収録〕（二八九八年）

桑港仏教会文書部 編

『桑港仏教会開教三十年記念誌』（一九三〇年）

津村得誠 編 「北米仏教団教勢一覽」（一九三二年）

第二巻 寺川抱光 編 「北米開教沿革史」（一九三六年）

第三巻 村野孝顕 編 「仏教海外伝道史」（一九三三年）

村野孝顕 著 「百年後の米国仏教」（一九三九年）

第四巻

釈宗演 著 「万国宗教大会一覽」（二八九三年）

遠山潮徳・池田順教 著

『人と仏——日蓮主義の要領』（抄録）（一九二四年）

河崎顕了 著 「欧米伝道記」（抄録）（一九二九年）

中川善教 著 「米布に使用して」（抄録）（一九五四年）

風早勝一 著 川島宏之 編

『高野山米国別院五十年史』（抄録）（一九七四年）

第五巻

常光浩然 編 「日本仏教渡米史」（一九六四年）

解題——中西直樹 著

『仏教海外開教史資料集成（北米編）』 解題

常光浩然 著 仏教伝道協会 編

第六巻

『北米仏教史話——日本仏教の東漸』（一九七三年）

日本米布協会 発行 「日本米布協会要覽」（一九三七年）

日本米布協会 編集部 編

『第一世と兵役関係』（一九三八年）

既刊書のご案内

仏教 海外開教史 資料集成

ハワイ編

全六巻

〔編集復刻版〕

A5判・上製・総三、六七四頁

本体揃価格 一、二〇、〇〇〇円＋税

「北米編」に引き続き『仏教海外開教史資料集成』

「南米編」の復刻刊行を予定しています。

不二出版

▶〒113-0023 ▶東京都文京区向丘 1-2-12
▶TEL 03-3812-4433 ▶FAX 03-3812-4464
▶振替 00160-2-94084

*表示価格はすべて税別